



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月3日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL http://www.fantasy.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括兼リスク マネジメント担当 (氏名) 新田 悟 TEL 043 (212) 6203
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月7日 配当支払開始予定日 平成26年10月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	23,744	△0.9	1,748	5.6	1,782	5.7	848	3.2
26年2月期第2四半期	23,969	9.4	1,656	4.7	1,686	6.3	822	11.4

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 752百万円 (△17.8%) 26年2月期第2四半期 915百万円 (29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	46.77	46.60
26年2月期第2四半期	45.32	45.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	29,182	21,107	71.1
26年2月期	27,978	20,618	72.5

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 20,747百万円 26年2月期 20,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年2月期	—	15.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	7.4	3,000	18.3	3,000	13.4	1,400	25.3	77.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	18,175,688株	26年2月期	18,175,688株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	30,092株	26年2月期	35,816株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	18,141,602株	26年2月期2Q	18,137,902株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2014年3月1日～8月31日)は、「①店舗数の拡大、②ゲーム機の海外調達、③ブランディング推進」といった3つの重点施策を「成長を支える戦略サイクル」と位置付け、成長と差別化実現に向けた取組みを進めるとともに、利益の最大化に向けたコスト削減や既存事業の強みを活かした新たなチャレンジに着手いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高237億44百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益17億48百万円(同5.6%増)、経常利益17億82百万円(同5.7%増)、四半期純利益8億48百万円(同3.2%増)となりました。

(国内事業)

国内事業は、消費税率引き上げに対し価格転嫁を見送り、原価や販管費の削減を実行いたしました。遊戯機械については海外調達の拡大に加え、使用実態に合わせた耐用年数の見直しによる減価償却費の減少や店舗の労働時間計画に対する進捗コントロールを強化するなど、各種原価と販管費の圧縮を進めてまいりました。

一方、新規出店については外部ディベロッパーやイオン系既存ショッピングセンターへの出店に注力し、当第2四半期連結累計期間においては7店舗の出店となりました。中でも8月に東京スカイツリータウンに出店した「東京子ども区 こどもの湯」は当社初の都市型施設への出店であり、当該商業施設において人気スポットとなり集客に貢献することができました。

以上の取組みの結果、国内事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は218億7百万円(前年同期比5.2%減)と消費税率引き上げ等により減収となりましたが、営業利益は19億1百万円(同2.1%増)となりました。

(海外事業)

海外事業については、既存進出国での出店を加速し、中国8店舗(1～6月)、マレーシア6店舗、タイ3店舗と合計17店舗の新規出店を行うとともに3子会社とも前年から利益改善が進んでおります。

これにより海外事業の業績は、売上高19億56百万円(前年同期実績9億69百万円)、営業損失1億53百万円(前年同期営業損失2億6百万円)となりました。

なお、海外事業はアセアンでの事業拡大に向け、5月にイオンファンタジーフィリピンを設立するとともに、6月にはカンボジアでのフランチャイズ事業を開始、7月にはインドネシアでの子会社設立を決定しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、103億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7百万円減少いたしました。主な内訳は、当第2四半期会計期間末日が金融機関の休日のため、売上預け金のうち26億62百万円が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の増加(39億92百万円)や関係会社寄託金の減少(60億円)であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、188億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億11百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化等に伴う遊戯機械の増加(15億81百万円)であります。

この結果、総資産は291億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、77億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億86百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金(3億円)や設備支払手形の増加(2億47百万円)であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3億55百万円となりました。

この結果、負債合計は80億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億14百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、211億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億88百万円増加いたしました。主な内訳は、四半期純利益の計上(8億48百万円)や剰余金の配当による減少(2億72百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月8日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、AEON FANTASY GROUP PHILIPPINES INC.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

従来より、当社及び連結子会社が保有する有形固定資産の遊戯機械の耐用年数については、各資産の使用実態を勘案して2～6年の範囲内で減価償却を行ってまいりましたが、当連結会計年度から開始する中期経営計画におけるオリジナル遊戯機械等の導入方針に基づき使用期間を見直した結果、一部の遊戯機械について従来の耐用年数よりも長期間使用する見込であることが明らかとなったため、耐用年数の範囲を2～9年に変更しております。

また、遊戯機械の耐用年数の変更を契機に、当社が保有する有形固定資産の残存価額について見直しを行った結果、当連結会計年度より備忘価額に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が746,453千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,246,115	3,248,722
売上預け金	101,669	4,093,752
たな卸資産	1,053,891	1,602,733
関係会社寄託金	6,000,000	—
その他	836,828	1,385,309
流動資産合計	11,238,505	10,330,517
固定資産		
有形固定資産		
遊戯機械(純額)	9,355,109	10,936,161
その他(純額)	3,534,873	3,968,756
有形固定資産合計	12,889,983	14,904,918
無形固定資産		
のれん	824,230	704,232
その他	124,649	190,250
無形固定資産合計	948,880	894,483
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,174,925	2,281,689
その他	726,186	770,494
投資その他の資産合計	2,901,111	3,052,184
固定資産合計	16,739,975	18,851,586
資産合計	27,978,480	29,182,103
負債の部		
流動負債		
買掛金	994,840	1,168,368
短期借入金	—	300,000
未払費用	850,116	1,555,235
未払法人税等	1,231,791	1,118,821
賞与引当金	205,231	208,764
役員業績報酬引当金	25,778	22,571
閉店損失引当金	10,956	11,326
設備関係支払手形	1,867,704	2,115,571
その他	1,846,010	1,218,561
流動負債合計	7,032,430	7,719,221
固定負債		
退職給付引当金	32,019	38,255
資産除去債務	220,310	224,506
その他	75,018	92,748
固定負債合計	327,347	355,511
負債合計	7,359,778	8,074,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,709,697	1,704,917
利益剰余金	16,358,418	16,934,733
自己株式	△57,270	△48,099
株主資本合計	19,757,983	20,338,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,592	16,757
為替換算調整勘定	505,267	392,003
その他の包括利益累計額合計	520,860	408,760
新株予約権	66,142	70,256
少数株主持分	273,715	289,663
純資産合計	20,618,702	21,107,371
負債純資産合計	27,978,480	29,182,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	23,969,308	23,744,085
売上原価	20,835,169	20,521,819
売上総利益	3,134,139	3,222,265
販売費及び一般管理費	1,477,818	1,473,761
営業利益	1,656,321	1,748,504
営業外収益		
受取利息	6,914	7,395
為替差益	16,704	38,090
機械仕入割戻	13,778	2,567
その他	11,799	15,094
営業外収益合計	49,196	63,147
営業外費用		
固定資産売却損	16,696	18,177
その他	2,365	10,882
営業外費用合計	19,062	29,059
経常利益	1,686,456	1,782,592
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	2,134	11,326
減損損失	29,815	14,376
店舗閉鎖損失	17,701	2,613
特別損失合計	49,651	28,315
税金等調整前四半期純利益	1,636,804	1,754,276
法人税、住民税及び事業税	653,475	1,074,975
法人税等調整額	160,409	△169,645
法人税等合計	813,884	905,330
少数株主損益調整前四半期純利益	822,920	848,946
少数株主利益	748	532
四半期純利益	822,171	848,413

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	822,920	848,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,784	1,164
為替換算調整勘定	88,505	△97,848
その他の包括利益合計	92,290	△96,684
四半期包括利益	915,210	752,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	915,498	737,763
少数株主に係る四半期包括利益	△287	14,498

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,636,804	1,754,276
減価償却費	2,373,534	2,182,536
固定資産除売却損益(△は益)	69,783	53,028
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,109	4,011
受取利息	△6,914	△7,395
減損損失	29,815	14,376
売上預け金の増減額(△は増加)	△4,073,575	△3,994,370
たな卸資産の増減額(△は増加)	△149,470	△550,012
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,768	172,048
その他	231,344	△417,954
小計	110,662	△789,456
利息の受取額	9,748	8,614
法人税等の支払額	△1,324,751	△1,143,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,204,340	△1,924,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,409,793	△3,859,368
有形固定資産の売却による収入	13,840	29,294
無形固定資産の取得による支出	△18,648	△82,941
長期前払費用の増加による支出	△24,482	△15,437
敷金及び保証金の差入による支出	△100,349	△136,985
敷金及び保証金の回収による収入	96,810	20,432
関係会社寄託金の純増減額(△は増加)	5,000,000	6,000,000
その他	△1,192	△10,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,556,185	1,944,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	300,000
配当金の支払額	△543,920	△272,564
少数株主への配当金の支払額	△3,683	—
その他	△406	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△548,010	27,339
現金及び現金同等物に係る換算差額	77,656	△44,833
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△118,509	2,606
現金及び現金同等物の期首残高	5,250,053	3,246,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,131,543	3,248,722

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,000,098	969,210	23,969,308	—	23,969,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,295	—	15,295	△15,295	—
計	23,015,394	969,210	23,984,604	△15,295	23,969,308
セグメント利益又は損失(△)	1,862,694	△206,373	1,656,321	—	1,656,321

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,787,793	1,956,291	23,744,085	—	23,744,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,841	—	19,841	△19,841	—
計	21,807,635	1,956,291	23,763,926	△19,841	23,744,085
セグメント利益又は損失(△)	1,901,945	△153,440	1,748,504	—	1,748,504

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社及び連結子会社は、一部の遊戯機械の耐用年数を変更し、また当社が保有する有形固定資産の残存価額について見直しを行いました。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の「国内」のセグメント利益は644,246千円増加し、「海外」のセグメント損失は102,206千円減少しております。